

## 中国の伝統茶『腎茶』の薬理効果と風味の特徴

○中江美和\* 中村志津\* 大森正司\* 加藤みゆき\*\* 林智\*\*\*

( \* 大妻女子大, \*\*香川大教育, \*\*\*中国農業科学院茶葉研究所 )

【目的】中国雲南省に見出される腎茶は、様々な成人病（生活習慣病）の予防、特に血糖値の改善に効果的として知られ、今に伝えられている。カメリア属由来の茶ではないが、漢方的一种として比較的淡白な味は嗜好的にも好まれ、ガブ飲みのできる茶でもある。本研究では、これら伝承としていわれている血糖値上昇抑制等の効能効果を実証するために行い、知見が得られたので報告する。

【方法】①試料としての腎茶は中国雲南省景洪において、市場での市販品を入手した。②茶の一般成分法に準じて、水分、糖（ソモギー法）、遊離アミノ酸（ニンヒドリン法、HPLC）、結合型アミノ酸（同法）、有機酸（HPLC）、ポリフェノール（酒石酸鉄法、HPLC）、香気成分（SDE法）を分析した。③ウイスター系雄白ラットに10～50%グルコースを強制経口投与し、継時的に採血してグルコース量の変化を検討した。この時、腎茶を糖負荷30分前に強制投与し、同様に血中糖濃度を測定した。

【結果】①腎茶の一般成分を分析したところ、水分約4%、遊離アミノ酸1.1%、遊離糖2.4%、また、プロリンを多く含むことが明らかとなった。②糖負荷試験の結果、腎茶抽出液は血糖値上昇を抑制することが示された。